

第2次 神河町長期総合計画

後期基本計画



令和6(2024)年3月

神河町

はじめに

平成31年3月に10年間のまちづくりの最上位計画である第2次神河町長期総合計画を策定し、町民の皆様とともにまちづくりを進め5年が経過しました。

この度、これまでの計画の進捗状況の評価と、今後5年間の各まちづくり分野の取り組みについて議論を重ね「ハートがふれあう住民自治のまち ～大好き！私たちの町かみかわ～」の実現に向けた後期基本計画を策定しました。



令和元年度からの前期計画期間中には、新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより社会・経済活動が大きく制限され、生活様式の変更が進みました。一方で、移住に関する関心の高まりや、アウトドアブームによる観光施設の賑わいなどもありました。

また、令和2年には「クールチョイスなまち」宣言を行い、その目標・指針となる「地球温暖化対策実行計画」の策定。

世界各地で紛争・戦争が絶えない中「恒久平和のまち」宣言を行い、憲法を活かし「かけがえのない命を守り、全世界の人々が幸せになる」ための取り組みを進めています。

人口減少が進む中で、重点施策である子育て支援は、令和2年度に病児病後児保育を開始。令和6年度からは中学生の通学用自転車購入補助や小中学校等への入学時の支援制度により保護者の経済的負担の軽減を図り、神河町の「宝もの」である子どもたちを取り巻く環境改善にも取り組みます。

懸案であった旧栗賀小学校跡地には、公園・図書コミュニティ施設の整備を進めており、神河町誕生20周年を迎える令和7年のオープンを目指します。多世代が集い、賑わいを発信し、「まちのリビング」をコンセプトに施設を整備してまいります。

また、地域課題を解決する方策の一つとして、町内7ブロックのすべてで地域自治協議会を設立します。住民と行政が協働し、町民の皆様の幸福度を高めながら、2050神河将来ビジョンが目指すまち全体のすがた「変わらない風景を未来の世代へ」つないでいけるよう取り組みを推進してまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、真摯にご審議いただきました神河町長期総合計画審議会委員の皆様、アンケート調査にご協力いただき貴重なご意見をいただきました町民の皆様をはじめ、ご協力いただきましたすべての皆様にご心からお礼申し上げます。

令和6年3月

神河町長 **山名 崇悟**

目次

総論

第1章	第2次神河町長期総合計画について	2
1	策定の趣旨	2
2	計画の構成と計画期間	2
3	計画の策定体制	3
4	SDGs（持続可能な開発目標）との一体的な推進について	4
第2章	まちづくりの現状と課題	9
1	「第2次神河町長期総合計画（前期基本計画）」の取り組み評価	9
2	住民意識調査からみた住民ニーズ・意向等	14
3	職員研修からみた意見・課題等	25
4	これからのまちづくりの課題	28

基本構想

第1章	神河町の将来像（まちづくりビジョン）	30
第2章	ビジョン実現に向けた基本的な考え方	31
第3章	まちづくりの基本目標（6本柱）	32
第4章	まちづくりの施策体系	34
第5章	将来フレーム（将来人口）	35

後期基本計画

基本目標1	郷土を愛し、次世代を担う人材を育てる	38
1	子育て	38
2	教育	40
3	生涯学習・スポーツ	42
4	歴史・文化	45
基本目標2	安心して暮らせる環境をつくる	47
1	地域福祉	47
2	高齢者福祉・介護	50
3	障がい者福祉	54
4	健康・医療	57
基本目標3	美しく安全なまちを築く	62
1	自然環境・地域景観	62
2	生活環境	64
3	地域情報基盤	66
4	防災	67
5	防犯・交通安全	70

基本目標4	人が行き交い、出会うまちを創造する	71
1	土地利用	71
2	道路・交通	73
3	交流	75
4	定住促進	76
基本目標5	魅力と活力の産業を育てる	77
1	農林水産業	77
2	商工業	79
3	観光	81
基本目標6	安定した持続可能なまちを実現する	83
1	人権	83
2	住民参画	85
3	コミュニティ	86
4	行財政	87

資料編

○	神河町長期総合計画審議会条例	90
○	第2次神河町長期総合計画(後期基本計画)審議会委員名簿	92
○	職員ワーキングチーム委員名簿	93
○	諮問	94
○	答申	95
○	策定の経緯	96
○	2050 神河将来ビジョン	99
○	用語解説	103

